

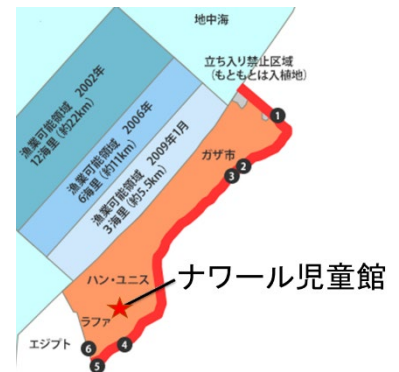
## 2020 年度平和カンパのご報告

### パレスチナ・ガザ地区 ナワール児童館の活動 特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン



#### ガザ地区の現状

ガザではこれまでの軍事封鎖や包囲、経済危機に加え、2020 年度はコロナ禍で日雇いの仕事で生計を立てていた多くの家族が定収をなくし、人々は経済的にも心理的にも追い詰められた状況が続いています。封鎖されたガザでは、外部からの感染者対策を徹底することで 3 月以降、域内の感染拡大を抑えていましたが、8 月下旬に市中感染が確認されてロックダウンとなり、公立や国連の学校も 9 月からの新学期開始が 11 月に延期される、その後も幾度となくロックダウンで学校は年間を通じて閉鎖を余儀なくされた一年となりました。



#### 子どもと母親の居場所・ナワール児童館での活動

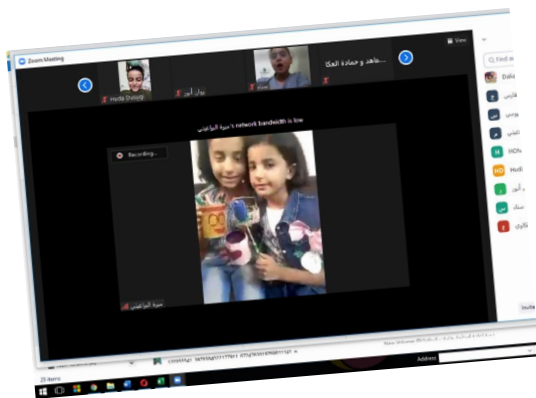
ナワール児童館では、指導員や母親、またコミュニティと一緒に、子どもたちがこの危機的状況を切り抜けられるよう、衛生面での学びや管理、心理サポートにも力を入れ、リモートでの活動や少人数でのグループワークなどを取り入れた活動を行いました。利用者向けには感染予防のガイドライン冊子を作り、入り口で検温や消毒、マスクの使用を徹底するなどの対策を取りました。

##### ●母親向け SNS グループ

250 人以上の母親が参加。特に家庭内でのストレスが心配なので、保護者向けの活動を強化。他の児童館や「女性保健センター」とも連携し、コロナについての正しい知識や情報、感染予防対策、家で過ごす子どもたち相手にできる遊びや活動、コミュニケーション方法などをビデオで伝えています。経済状況が悪化し、両親が喧嘩をして子どもに悪影響を及ぼすケースも多いため、心理専門家や児童館の指導員には携帯電話を貸与し、保護者や子どもからの相談にも対応中です。

##### ●SNS ツールを活用（子ども対象）

子どもたちとの連絡体制を確立するため、3 月から Facebook や zoom、WhatsApp（ワッツアップ：Line に似たアプリ）などを使用してリモート活動を開始。停電が多く、ネット環境が整っていない家庭も多いので、地域ごとに違う停電時間を考えて調整しています。多くの子どもたちが児童館の仲間たちへのメッセージや家での過ごし方の工夫、弟や妹との遊び方といった自作のビデオを SNS グループに投稿。工作には、身の回りの物をリサイクルするなど、環境についても考える機会となっています。



### ●補習クラス

国語（アラビア語）や算数など科目ごとにプリントを配布し、SNSグループで解説を行っています。ロックダウン以外の期間は、少人数を児童館に呼んで授業を実施しました。

### ●インクルージョン環境での学び

障がいのある子どもたちも活動に参加できるように環境を整え、一緒に活動を行うなかでの発見や協力などを学びました。

### ●コンピューター、テクノロジー

簡単なプログラミングの仕組みを学び、グラフィックやゲーム、ブログなどの作成を通じて自己表現を行い、テクノロジー分野での教育発展にもつながっています。



### ●夏休みのアクティビティ

コロナ対策のため、60人ずつ4グループに分け、1グループをさらに少人数に分けて、別々の活動を野外で実施。図工、音楽、演劇、電気を使わないゲームなどを行いました。また主人公になりきり、感情をこめて、聞く人と一体感が生まれるように物語を伝える「ストーリーテリング」は本を貸し出し、指導員がアドバイスをし、あとは本選びから親子で作り上げていく活動です。子どもにも保護者にも大変好評でした。

## ご支援に感謝いたします

パルシステム東京からいただいた平和カンパは、教材費やアクティビティ用の道具や工作などの材料、児童館の水光熱費、通信費、自家発電用の燃料費、地域活動の交通費、コンピューターやアートの指導員である現地スタッフの給与などに活用させていただきました。

皆様のあたたかいご協力により、パレスチナの未来を担う子どもたちが厳しい状況下でも希望を持ち、健やかに成長することができます。また、日々奮闘する母親たちの支えとなっているナワール児童館を、今後も共に支えていただきますようお願い申し上げます。

